

越前市有機農業産地づくり推進協議会（福井県越前市）

R5補正
R6当初

39

背景・課題

越前市は、有機農業を含めた県特別栽培による水稻の作付面積が、県全体の約4割を占める地域。

一方、有機農業従事者の高齢化による担い手不足が深刻化しているため、有機農業の規模拡大や効率化を目指すスマート技術の導入、また付加価値の高い有機農産物やその加工品の販路の開拓を推進し、新たな担い手を確保する必要がある。

成果目標と達成状況

※有機水稻のみを対象

○栽培面積（R4）109ha → （R5）135ha → （R10）170ha

○販売数量（R4）239t → （R5）288t → （R10）372t

○取組者数（R4）31人 → （R5）34人 → （R10）40人

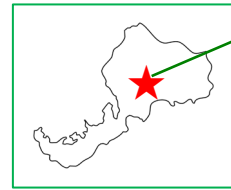
構 成 員

福井県、越前市、

J A 福井県、J A 越前たけふ

品 目

水稻



越前市

取組の成果

生産

- 有機農業の新規取組者に対する先進的農家による指導及び有機栽培技術のマニュアル作成のため、実証ほ場においてデータ収集を行った。

（実証ほ場面積：1.2ha）

- 実証ほ場で収集したデータを活用し生育ステージの画像判断を可能にするため、追肥適期を特定する実証実験を行った。

流通

- 有機農産物やその加工品の開発、パッケージデザイン等を支援し、ターゲットを絞って都市圏等において市場調査及び販路開拓を行った。

消費

- コウノトリ呼び戻す農法米（県特裁の認証区分①：栽培期間中の農薬、化学肥料の不使用）を市内全小中学校に提供（40俵）。さらに、農林水産省の「みえるらべる」をコウノトリ呼び戻す農法米に貼付、消費者に訴求した。



実証ほ場において横断幕を設置



特裁米を提供した際の献立



軽井沢発地市庭の売り場

（長野県軽井沢町）

農林水産省
みえるらべる

普及に向けた取組

- 先進的農事組合法人のノウハウを横展開するため、令和5年度に作成した栽培手引書の精度を上げる。
- 民間企業と連携し、収量や食味の向上や作業の省力化、効率的な作業管理につなげるため、スマート技術の実証実験を継続的に実施し、安定した収量や作業の効率化を図る。
- 国内外の食や環境に意識が高い層に向け、YouTube等のSNSを活用した情報発信。
- 「みえるらべる」等による差別化を図る。

問い合わせ先

福井県越前市環境農林部農政課
TEL:0778-22-3009